

2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 1 月 29 日作成)

小委員会名	環境建築小委員会	主 査 名：石野久彌 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (設備運営委員会)	委員長名：羽山 広文 主 査 名：赤司 泰義
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・技術動向と将来予測に関する討議、委員会活動の方針策定 ・環境建築の設計・運用事例と実績データの収集と分析 ・環境建築の評価研究や技術の開発、性能予測研究の事例収集と分析 ・2015 年度大会において OS を企画・実施	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：石野久彌 (首都大学東京)、幹事：永田明寛 (首都大学東京)、中山哲士 (岡山理科大学)、委員：赤司泰義 (東京大学)、宇田川光弘 (工学院大学)、郡公子 (宇都宮大学)、木幡悠士 (NTT ファシリティーズ)、下正純 (竹中工務店)、田島昌樹 (高知工科大学)、長井達夫 (東京理科大学)、丹羽勝巳 (日建設計)、羽山広文 (北海道大学)、藤村淳一 (大成建設)、丸山純 (松田平田設計)、山本佳嗣 (日本設計)	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2015 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：なし

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	なし
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	5 回の小委員会 (第 6 回は 2016/3/30 開催予定)、および見学会を開催し、幅広い情報交換と討議を行った。 2015 年度大会では OS「新世代環境建築のシステム技術」を企画し、計 10 編 (3 セッション) の応募があった。
委員会活動の問題点 ・課題	特になし

2015 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価)・最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A B C D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	環境建築小委員会を 5 回開催（第 6 回を 2016/3/30 開催予定）した。環境建築に関する技術動向や将来予測に関する討議、設計・運用事例に関する実績データの収集と分析、環境建築評価研究や技術の開発、性能予測研究の実例収集や分析を行った。 ■第 1 回 2015/5/18 - つくばみらい技術センター見学会に関する検討 - 書籍「スマートシティ時代のサステナブル都市・建築デザイン」の紹介と熱環境解析の内容報告 ■第 2 回 2015/6/8（三建設備工業、つくばみらい技術センター会議室で開催） - 環境建築「つくばみらい技術センター」の ZEB 化技術の見学 - 天井違法者パネルの熱量と室環境の実用的な評価・計算法 - ソーラー建築の将来展望 ■第 3 回 2015/8/7 - 自立型エネルギーシステムを持つ環境建築 Y ビルの性能検証 - 外皮・躯体と設備・機器の総合エネルギーシミュレーションツール「BEST」の開発 ■第 4 回 2015/10/15 - 地球温暖化とエネルギー問題について。水素エネルギーの活用。 - 環境建築「IHI グループ新研修所 I-STEP 湘南」の環境技術の紹介 ■第 5 回 2015/12/22 - 環境建築「The gate hotel 雷門 by Hulic」床潜熱蓄熱材を用いたタイムラグ空調等の環境技術の紹介 - 環境建築「NTT ファシリティーズ新大橋ビル」空気式放射空調方式を採用した低負荷オフィスの環境技術の紹介。 ■第 6 回 2015/3/30（大成建設株式会社 技術センターで開催予定） - ZEB 実証棟の見学、他

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。